



ノーベル経済学賞受賞者(1980年) L・クライン氏

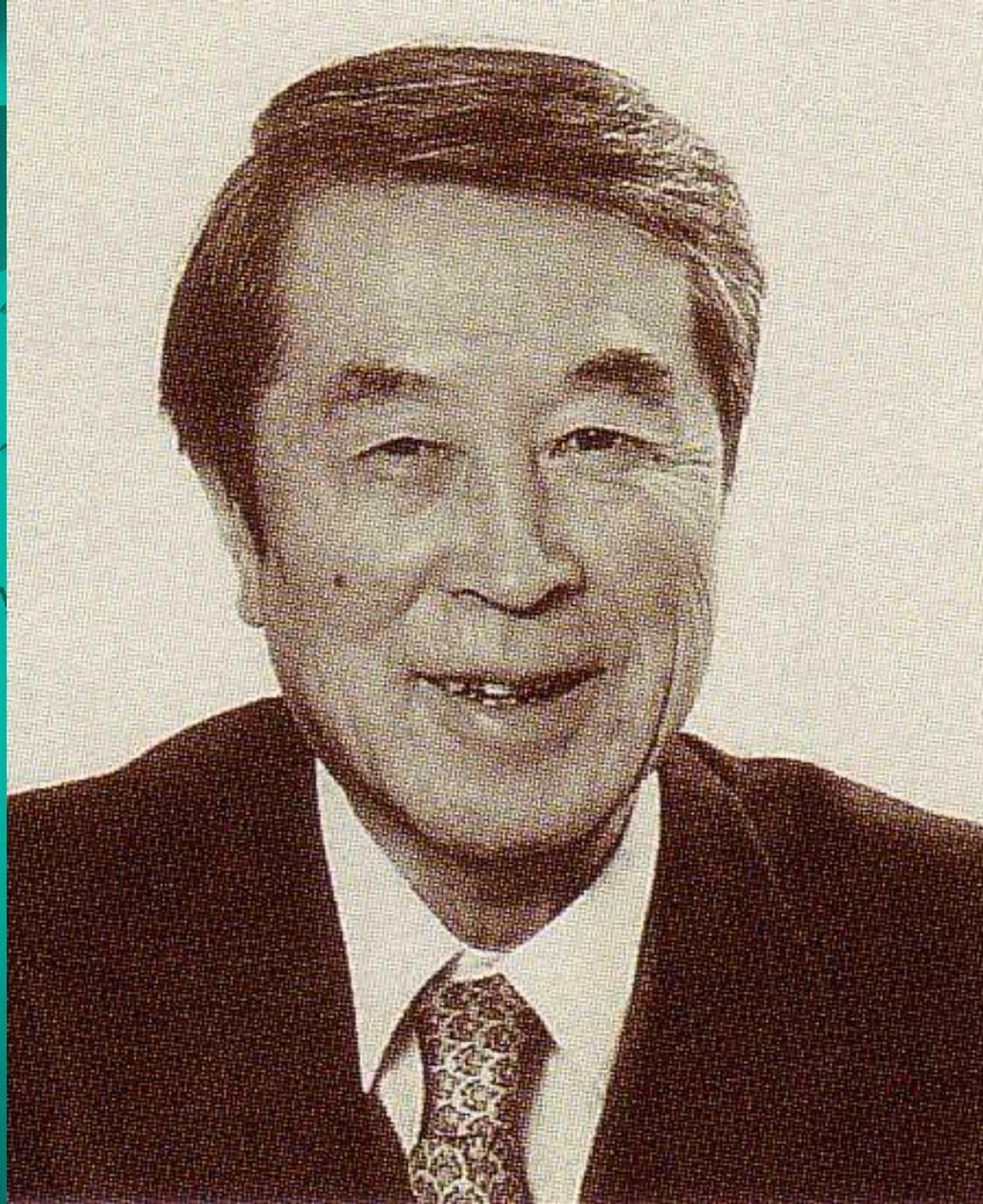


ノーベル化学賞受賞者(1986年)

李遠哲氏



ノーベル経済学賞受賞者(1998年) アマーティア・セン氏



ノーベル物理学賞受賞者(2008年) 南部陽一郎氏



ノーベル平和賞受賞者(2006年) ムハマド・ユヌス氏



ハーバード大学名誉教授 エズラ・ボーゲル氏



ジョンズ・ホプキンス大学教授 ケント・カルダー氏



三井物産戦略研究所会長 寺島実郎氏



朝日新聞前主筆 船橋洋一氏



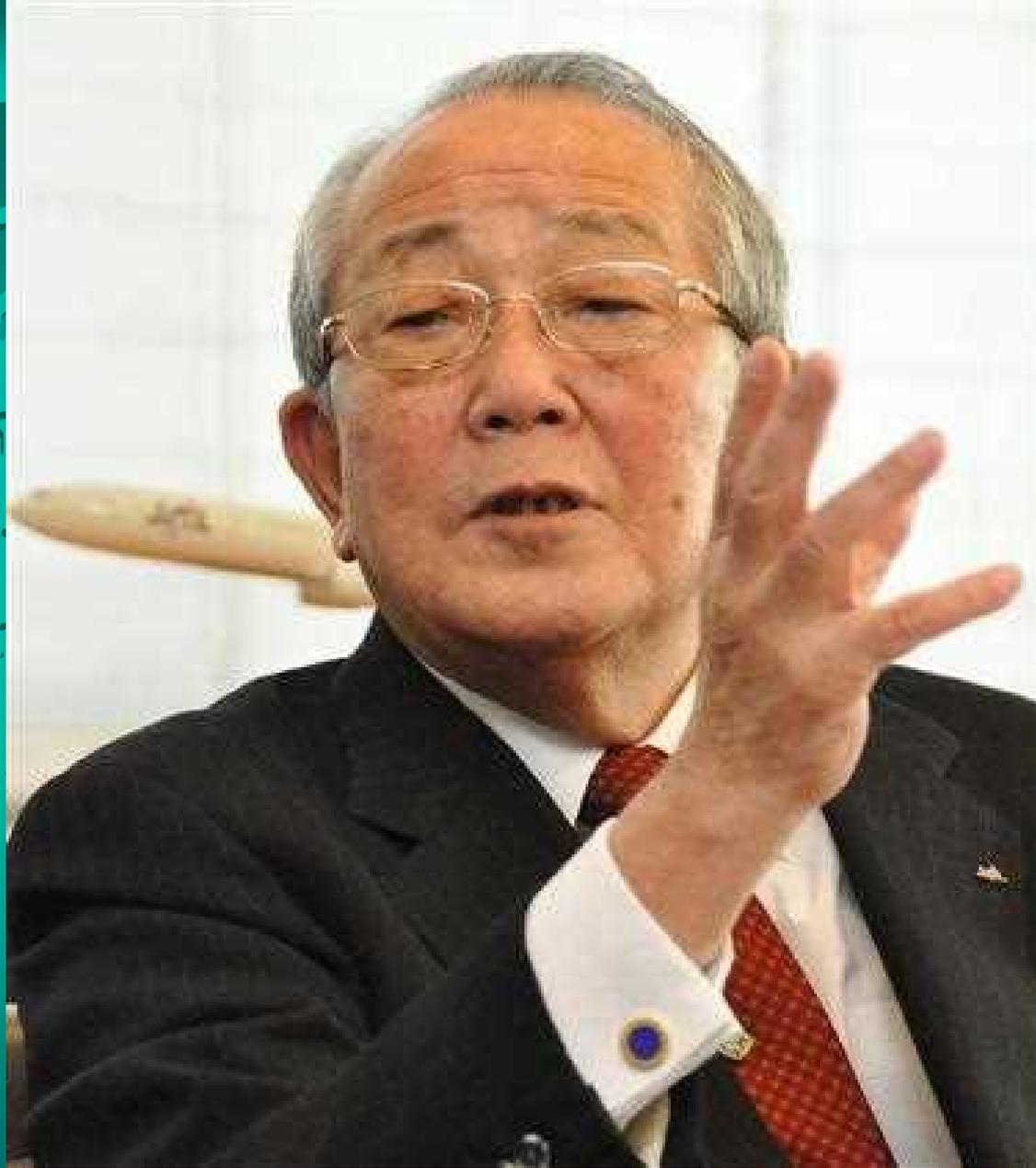
国連元事務次長 明石 康氏



国立民族学博物館創設者・初代館長 梅棹忠夫氏



茶道裏千家第15代家元 千 玄室氏



京セラ名誉会長 稲盛和夫氏



第1回国民栄誉賞受賞者 王 貞治氏

# 7・ APU創設に果たした創設期学生 (1期生、2期生・・・)の役割

1. 創設期の学生、創設の苦労を教職員と共有  
→「We Can Do It !」に込められた創設期学生たちの思い。
2. 未体験地・大分県、別府市での、立命館教職員の奮闘
  - ・APU立地発表直後の大分県民・別府市民の不安をいかに克服したか。
3. 「2002年世界学生サミット」に込めたもの
  - ・世界を代表する60大学の代表集う。
  - ・「APUは世界一をめざそう！」

# 2002 WORLD STUDENTS' SUMMIT

*The Role of Students and Youth: How Can We Establish Human Security and Sustainable Development on the Earth?*



## 2002世界学生サミット

「人間の安全保障」と「持続可能な発展」の両方に確立するか、学生・青年の役割



## 8. APUはこれから何をめざすか

1. もっと世界から。もっと世界へ  
→世界へのゲートウェイ大学・APUへ
2. 「建学理念」を具体化する大学づくり  
自由・平和・ヒューマニズム(ヒューマニティ)  
国際相互理解  
「アジア太平洋」の未来創造  
→「地球と人間の安全保障のために」貢献  
する大学
3. 世界から学生の集まる多文化環境を生かした、新しい世界文化、世界価値の創造

## 9. 最初の入学式(2000年4月)式辞、 結びの言葉—APU創設の思い

「未来を予測する最良の方法は、自ら未来を創ることである。(The best way to predict the future is to create it by yourself.)」(ピーター・ドラッカー (Drucker, P. F.) の言葉)

※「自ら未来を創ることにはリスクが伴う。しかし、自ら未来を創ろうとしない方がリスクが大きい。(To try to make the future is risky. It is less risky, however, than not to try to make it.)」(Drucker, P. F. *Management Challenges for the 21<sup>st</sup> Century*, 1999. 日本語訳『明日を支配するもの』)



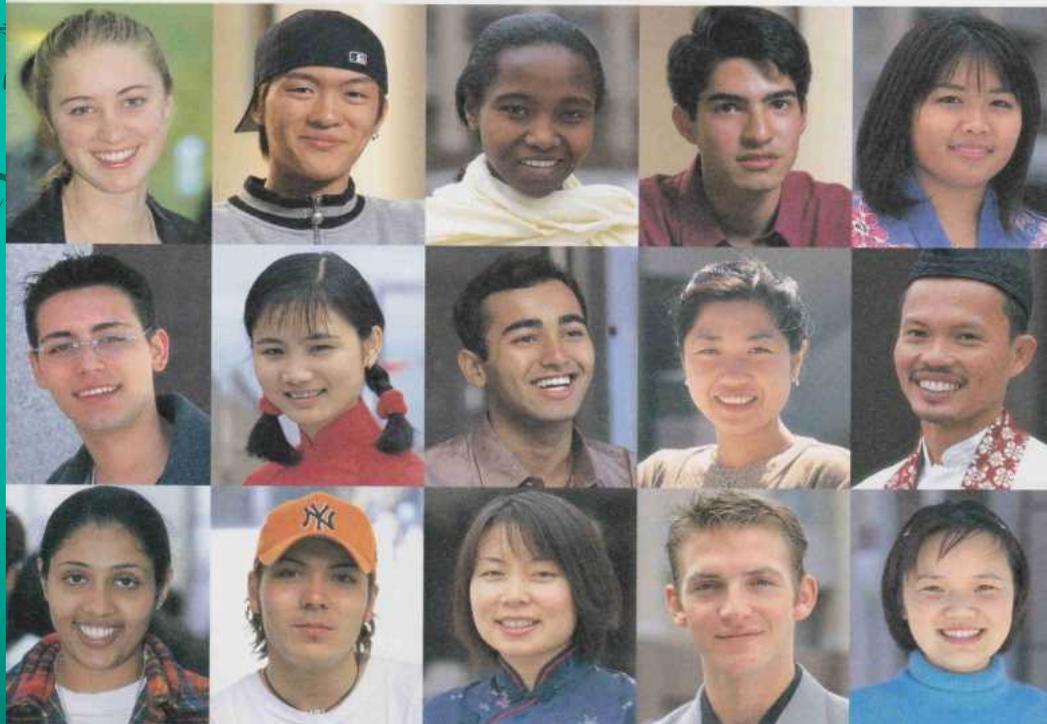
APU

Ritsumeikan Asia Pacific University

2001

# Ritsumeikan Asia Pacific University

College of Asia Pacific Management • College of Asia Pacific Studies



学生の半数が留学生、教員も半数が外国籍。  
多文化キャンパスがあなたを待っています。

立命館アジア太平洋大学



APUとは、  
あなたにとって何ですか。



私にとってのAPU

「夢: Dream」



**APU創設の志と  
創設15年の成果に、  
自信と、誇りと、責任を！**



ご清聴、  
ありがとうございました。